

— 自然科学基礎 2011-1-13 フィードバック —

1. 原爆資料館

私も高校の時^{修学旅行で}にその場所に行き、後に学生・教員全員で黙祷した。被爆直後のビデオを少し見せてもらったことがあるけど、本当に心が苦しくなりました。

私も広島資料館に行、たことがあります。とてもショックを受けました。

中学生の頃平和学習のため修学旅行で広島に行きました。先では資料館にも行き、被爆者の話も聞きました。被爆した方のビデオもさぞ見ました。

昔は広島・長崎は修学旅行の定番でした。しかし、いつの間にか、ディズニーランドが定番になり、広島・長崎の原爆資料館に行ったことがないという学生が多くなりました。

「見たくない」を理由にせず、皆さんも行ってください。

2. 原爆のこと

天の川が何故おぼろにきれいに輝いてるのか、と不思議に思いました。

その時、爆発から、うっせした物がふんぞりて、それに付いてぶらぶらしてはいるのか？

核実験の多くは国家機密なので詳細は分かりません。しかし、実験を無駄にしないためにカメラは沢山設置したはず。カメラの方が安いからです。そして、生き残ったカメラからフィルムを取り出したはず。つまり、映像はカメラが耐えうる領域を映したに過ぎず、爆心地はもっと凄惨なことになっているということだと、私は理解しています。

いい観点ですね。

原爆の事故について、東海村の臨海事故の記した日は、場所が同じ茨城県那珂郡に任んでいることもあり、学校全いが閉鎖、親の目を盗んで外に出たら、ヘリコプターで個人的に注意されたのも思い出しました。(笑)

あまり笑えないエピソードです。あの時の事故がどんなものだったのか、どんな可能性があったのか、調べてみるといいと思います。

核から発生する放射線の威力はすさまじく、99%は人体にも地球全体にも影響があることに驚きました。

まずは、ここが出発点ですね。抑止論にしても、核を使うことが恐ろしいことであると認識しなければ、抑止も働きません。

3. 核抑止論と核拡散

「垂直の拡散」は「核分裂反応」と少し類似している部分があると思う。他の国より強い核兵器をわけて相手に攻撃しないように抑止招。そして、また強い武器を核兵器を作る。

湯川博士自身、これは正のフィードバックだ（と英語で）言っていたのに気づきましたか？

この世界はもう終ったと絶望的を気持ちになった。

核保有国は自分の国を守ることにしか考えていないんだと思う。とても憤りを感じます。

世界で核兵器を必要としているのは、本当に国境に守られていると思いません。

抑止論を支持する人は、「ほんの一握り」ではありません。日本人でさえ「北朝鮮からの攻撃を防ぐために核武装すべきだ」という人は多くいます。

国境は、守られていないのに、そんなことでおかしな人によって作られた決断の死傷がするのは本当に悲しいです。

核抑止論に賛成の科学者、国境がたまたまということにとどまってきました。

おそろしい、核兵器のわきより人間である。本当にそうだと思います。

核抑止論…シミュレーション。それは「火の玉」だと言いたくありません。

平和って何とやら一体何とやら？と考えさせられました。

抑止論についてちょっとした補足を二つ。1. ビデオで抑止論を言い出したとして紹介されたレオ・ジラードは、実際には核をどうしたら無くせるか真剣に考えた人でもあります。2. あるラジオ番組で、「武装することと武装を放棄することと、どちらが勇気のあることか？」と問いかけていました。興味深い観点だと思います。

4. 科学と国家

核の問題について話し合おうとする学者たちが
核の悲惨さも知らずに話していたことに驚きました。

科学者は自分の好きな学問に「た」のめり込んで勉強することはできない。

又、自分が発見、成果をあげたものにはどうして責任がとれない。

アインシュタインは核兵器を悪く思っていたが、何も知らない自分たちを悪く思っている。倫理に思いついたことを思い、私はやはり自分たちの悪くを思っている。今日の講義でアインシュタインの無知を思いついた。それと同時に恥かいた。

これから先、技術はどんどん進んで、核爆弾以上に怖いものを
作りだしてしまう可能性は大にあると思います。

知ること、哲学・倫理、その他の学問の第一人者は湯川さんとともに
核廃絶にもっと尽力を義務(完全義務)を感じてほしいです。

考えていません。問題は沢山あるし、その人にはその人の役割があると思うからです。だから、私も、皆さんに原爆廃止のための先頭に立て！とは言いません。私自身もこうして講義で話すことが私自身の役割かな、と思っています。

4. 勉強すること

知りたいことだけ勉強し、知らなければならないものを勉強しないのは
すごく危険なことであると確信した。

そして、たいてい「国と科学者を批判する奴」はよく、自分たちも、

それについて学ぶ。一緒に(使い方を)考える必要があることと知りた。

「日本のこころを忘れた者がちが自分ら当てはまらぬと気がした。

しかし、自分達一人一人がちゃんと勉強して判断し、決めれば、自分もしっかりと気持ちをもって頑張りたいです。
無くなった日もそう遠くはないのではないのでしょうか。

これから、自分で考え、核問題とどう向きあうべきかを知って行動したい。

しかしそこに興味は向きませんでした。学ばなくても私生活に影響はないからです。

その認識は間違っていたとは、きり理解しました。学ばなければ人類は滅びました。

いろんなことを知っていくと、今とは全く
違う自分になる可能性があるんだなと思った。

で、核なんて昔のことだし、私には関係ないと思っていた。

今日の授業で関係をもつことが、重要なことなのだと気づかされた。

先生が「科学者がダメなら私たちが勉強するしかない」という言葉を聞き、この講義名の「わたしたちと物理学」という意味が分かった気がした。

これだけ多くの学生のみなさんからのメッセージを読んでいると、未来に対して何にも失望する必要はないし、むしろ明るい未来があると思っています。

今日の予定

1. 復習： 今が最も身につく時かも…
2. 期末試験： 授業時間終了15分前から退出してかまいません。
3. 授業評価アンケート： 記入したら中央列最後部に裏返して置いていって下さい。中央列で最後まで試験を受けた人の一番後ろの人は教務課に持って行ってください。宜しくお願いします。

来週の予定(補講!)

1. テスト返却(できれば)
2. 就職試験対策にもなる物理学・フェルミ推定